

## 平成 29 年度 第 2 回港南区協働による地域づくり推進協議会 開催報告

【日 時】	平成 29 年 9 月 7 日（木）12:00 から 14:00 まで
【場 所】	港南区役所 5 階 地域協働ルーム
【出席者】	藤田会長、五十嵐副会長、小清水委員代理、福山委員、比留間委員、二河委員、加賀委員、谷本委員、高柳委員、塩田委員、守分委員、齊藤委員
【議 題】	(1) 災害時に支援が必要な方に対する対応について（災害時要援護者支援） (2) 各団体の情報共有と連携について

### 【港南区協働による地域づくり推進協議会の概要】

区内の地域活動者や団体が、自治会町内会など身近な地域の中で連携できる関係を築き、地域での活動をより一層進めていくために、区内で活動する各団体の代表者と区役所と一緒に話し合い、情報を交換する場として、平成 26 年度から設置しています。



### 港南区連合町内会長連絡協議会（藤田会長：芹が谷）

#### ● 災害時に支援が必要な方への取組の推進について

自治会町内会の中には会長が 1 年で交代するところも多くあります。各種団体の委員の方は地域に長く関わっている方も多いため、このような場で災害時要援護者支援の情報共有をさせていただき、皆様で地域をサポートしていただきたいと思います。

災害時要援護者支援は、連合と区役所が一体となって取り組まなければいけない新たな取組です。8 月には区連会の意見交換会においても議題として取り上げ、各地域の取組状況等を共有しました。同じ災害時要援護者支援についての取組であっても、地域の特性や状況によって異なると思います。しかし、「お互いに助け合う」ということには変わりはないので、取組が進んでいる地域を参考にしながら、自分の地域に合った取組を進めていただきたいと思います。



### 港南区民生委員児童委員協議会（五十嵐副会長：日野第一）

#### ● 地域防災拠点における民生委員のつながりづくり

地域防災拠点と民生委員の地区割が一致しておらず、地域防災拠点に複数の地区の民生委員が関わっているところがあります。ほかの地区の民生委員との日頃の関係づくりの機会がなく、災害時にお互い顔を知らないことは課題となりますので、解決していきたいと思います。

#### ● 民生委員制度創設 100 周年

今年、民生委員制度創設 100 周年を迎えました。7 月には東京ビッグサイトで全国大会が開催され、天皇后両陛下も出席されました。横浜市の大会は 11 月に予定されており、港南区では 8 月におやこコンサート、10 月に個人情報保護をテーマとした全員研修を行います。

#### ● ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業

民生委員は横浜市ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業に協力しています。これは、75 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に行っており、自治会町内会に加入していない方も対象としています。この事業を通じてそういった方々の状況を把握することができます。



## 港南区社会福祉協議会（小清水委員代理：港南区社会福祉協議会事務局長）

### ● 共同募金運動に御協力をよろしくお願いします

今年度も10月1日より赤い羽根共同募金運動及び年末たすけあい募金運動が始まります。例年、地域の皆様には個別募金や街頭募金など様々な形で御協力をいただいています。皆様からの募金は県下で集約され、例えば災害時のボランティア派遣など港南区を含む神奈川県下の福祉活動等に活用されますので、例年と変わらぬ御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

また、定年退職後の男性が地域で仲間を作り、地域活動を始めのきっかけをつくることを目的として区役所や地域ケアプラザと連携して開催する「男のセカンドライフ大学校」の受講者の募集を行っております（9月29日申込終了）ので、周りの方にもお伝えください。



## 港南区地区社会福祉協議会分科会（福山委員：日下）

### ● 支えあい訪問事業

日下地区社協では、平成14年から支えあい訪問事業を行っています。民生委員だけでなく他団体の方にも応援していただき、対象する方お1人に対して4名から5名程度で各家庭を訪問しています。高齢者台帳も作成しており、台帳の記載に変更があった場合には赤字で加除訂正しています。区役所の名簿には障害者の方や要介護の方でも記載されているということなので、その情報を活用して支援の質を更に向上していきたいと考えています。

### ● 他団体との情報共有

見守り・支えあいマップの作成を今年度も進めています。また、他団体との連携を図るため、上半期は住民参加型事業所との研修会を行い、9月には地区社協分科会と福祉ネットワークと合同研修会を開催します。このことによって、一人暮らしや障害のある方の情報を共有していきます。



## 港南区保健活動推進委員会（比留間委員：野庭団地）

### ● 災害時要援護者支援のための名簿作成

私の所属する自治会では平成27年に災害時要援護者支援組織を立ち上げ、災害時に支援が必要な方の把握を行うための名簿作成に取り組みました。手挙げ方式に加え、遠慮して手を挙げない方などを漏らさないために区役所と協定を結び、情報提供をしてもらいました。名簿作成の過程で、支援が必要な方の情報の多くは以前から共有されていることが再確認できたのと同時に、新たに支援が必要な方を把握することにもつながりました。今後も年2回、区役所から情報が提供されるタイミングで名簿に変更があれば更新していく必要があると考えています。

### ● 保健活動推進委員会が70周年を迎えます

保健活動推進委員会は来年で70周年を迎えます。記念イベント、記念誌、広報の3つの記念事業を行う中で、保健活動推進委員の活動内容を伝えていきたいと思っております。また、昨年からは健康アクションこうなん5をより充実させていくため、子どもの受動喫煙防止など更なる取組を推進していきます。



## 港南区青少年指導員協議会（二河委員：日野）

### ● 災害時の担い手として中学生を

先日行われた学地連において、災害時における避難所の運営について中学生が活発に議論をしていました。そのとき、中学生が地域の役に立ちたいという思いを実感することができました。こういった活動を通じて協力の輪を更に広げていければ、と思っています。



### ● 青少年指導員の活動状況

7月のパトロール活動では、青少年の夜間外出に注目して、公園やコンビニ等を巡回しました。11月には「こうなん子どもゆめワールド」の開催が予定されており、私たちも「チャレンジ・ザ・ゲーム」（子ども向けゲーム）を実施して子どもたちとの交流を図っていきます。また、年間を通して中学校の生徒指導の専任教師との交流会を15地区全てで行っており、いじめや問題行動などについて意見交換をし、学校の様子などを知る機会としています。

## 港南区消費生活推進員の会（加賀委員：永谷）

### ● 災害時要援護者支援についての取組

私の地域でも災害時要援護者支援についての取組は少しずつ行われていますが、もう一歩進んだ取組にするために皆で協力していきたいと感じました。地域でも消費生活推進員の会でも本日の協議会の内容を共有していきたいです。



### ● 「お助けカード」の活用を

昨年度から高齢者の消費者被害の未然防止を図るため、横浜市消費生活総合センターの情報等が記載された「お助けカード」を地域の見守りの仕組み等を活用しながら配布しています。是非ほかの団体の皆さんも地域のつながりづくりの一助として活用していただければ嬉しいです。

## 港南区スポーツ推進委員連絡協議会（谷本委員：港南台）

### ● 地域における役割

スポーツ推進委員は地域で役職に就き、長く地域に関わる方が多いです。地域によっては単年で会長が変わってしまうことも少なくありません。スポーツ推進委員の活動に直結しない地域の取組であっても、地域のことをよく知っているという立場からサポートしていけるようにスポーツ推進委員全体に伝えていきたいと思えます。



### ● スポーツ推進委員の活動状況

1月の健康ランニングが終わるまで、トライアスロン大会やマラソン大会の開催に加えて研修会を開催するなど、忙しく活動していきます。また、これらと同時に各地域の文化祭や体育祭にも参加し、地域の活性化を図っていきます。

## 港南区環境事業推進委員連絡協議会（高柳委員：日野第一）

### ● 一人暮らしの方や災害時要援護者の把握

私の地区では、町内会費を徴収する際にただ徴収するだけでなく、家族構成と災害時に支援が必要かどうかを答えてもらうようにしました。ほとんどの家庭が協力的に答えてくれて、一人世帯と要支援の方の把握をすることができました。今日の話聞き、次の自治会の会合では何か取組が進められるよう話し合いができればと感じました。



また、災害時要援護者支援と環境事業推進委員が今後どのように結び付けて活動ができるかについて考えていきたいと思えます。

## 港南区シルバークラブ連合会（塩田委員：野庭団地）

### ● 高齢者が災害を起こさないために

私も比留間委員と同じ自治会に所属して災害時要援護者支援について一緒に取組を進めているので、この取組を広めてほかの自治会町内会の参考にしてもらえるようにしていきたいです。

また、私の自治会では高齢者が災害を起こさないようにするためには平常時にどうあるべきか、ということについて考えています。セミナーなどを開催して意識共有を図り、このセミナーなどを重ねていくことで災害を起こさないようにし、災害が起きてしまった場合にはどのように皆で支えあうかについて考えていきます。



### ● シルバークラブ盆踊り大会

8月に開催した盆踊り大会に約1,500名の来場がありました。世代間交流を目的としていますが、それにとどまらず、区全体の交流につなげていければ良いと思っています。

## 港南区食生活等改善推進員会（ヘルスマイト）（守分委員：永野）

### ● 隣近所との関係づくり

地域によって見守り支えあいの状況は変わってくるかと思いますが、日頃から隣近所での小さい単位における「つながりづくり」が大切だと思います。支援が必要な方を支える人が近くにいないと、災害時に支援するまでが大変です。ヘルスマイトとしても、地域としっかり顔の見える関係づくりを進めて災害時に支援できるように、日頃から両隣や前後の方たちと情報共有できる関係を構築しなければいけないと感じました。ヘルスマイトでは、いざというときの食についての啓発活動が3年目です。普段からの食材のストックがいざというときの備えになっているということをしつかりと伝えていきたいです。



### ● 港南ふれあいウォーキング

例年盛況となっている「港南ふれあいウォーキング」が今年も11月19日（日）に開催を予定しています。とても気持ちの良いコースですので、是非皆さんもPRしていただき、当日ご参加ください。

## 港南区役所（齊藤委員：港南区長）

### ● 災害時に備えた見守り支えあい

区役所では災害時に支援が必要な方への対応に焦点をあてたパンフレットを作成しました。大地震直後には、災害箇所も多く公助としての救援活動は全ての地域に伺えない状況だと思います。そのため、日頃から声掛けを行うなど近所での関係づくりが大切です。災害時に自助共助が発揮できるように備えていただければと思います。

どのように進めて良いか分からないという声もお聞きしていますので、参考にしていただけるような各地域の取組を紹介し、また、災害時に支援が必要な方の情報を区役所から提供できる仕組みなどについても皆様にお伝えしていきたいと考えています。地域の特性や状況は様々だと思いますが、それぞれに合った取組を港南区全体で進めていきたいと思っています。

